

## 令和 4 年度 高等教育研究コンソーシアム信州 学生活動支援事業活動報告書

団体等名	奈川えんがわプロジェクト	
代表学生	所属大学名・学部・学年	信州大学・経法学部・3年
	ふりがな 氏名	ひがし たいよう 東 大陽
教職員責任者	所属大学名・職名・ ふりがな 氏名	信州大学・教職支援センター あらい えいじろう 荒井 英治郎

活動名	奈川の「今」をより楽しく、より元気に大作戦
実施時期	令和 4 年 6 月～令和 5 年 3 月
実施場所	松本市奈川地区
活動内容	<p><b>【野麦峠散策】</b>          昨年の活動テーマである「奈川を知る」ことの一環として、奈川地区の連合会会長に講師をお願いし、野麦峠頂上から歴史などを教えて頂きながら野麦街道を散策した。野麦街道は野麦峠を挟んで岐阜県高山方面と松本・岡谷方面を結ぶ重要な道で、その昔は製糸工場で働く工女など年間約 2 万人が利用した。その道中の安全を願って石仏がたくさん置かれているのを見学したり、工女宿に置かれた運搬用の牛の展示から当時の運送形態について説明を受けたりして、奈川地区の歴史を深く知る機会となった。</p> <p><b>【夏期休業中のロングフィールドワーク】</b>          今年度は市の交付金も活用して、奈川地区内の家をお借りした。そこを活動の拠点とし、夏期休業中に、メンバー入れ替わり制で 8 日間ロングフィールドワークを行った。奈川を紹介する動画を作成しようという計画があったため、地区内の様々な場所を周りながら動画の撮影をしたり、奈川をより知るためにこれまで訪れたことがない場所にも足を運んだりして、地区内でのフィールドワークを中心とした活動を行った。ただ、雨の日が多く、動画の素材としては満足いくものをたくさん撮れなかったが、そんな中でも集めた素材を使い、地区紹介動画を作成した。メンバーは誰も動画作成をしたことがなかったが、グループで話し合い、協力しながら作り上げることができた。動画では音クイズと題して、地区内の様々な自然の音から、地区の特徴である雄大な自然を伝えることをコンセプトとして作成した。なお、その動画は 10 月上旬に行われた松本市長との懇談会にて、市長含め地域の方にも披露し、地区の方にとっても普段は見ないような思いかけない一面を紹介する機会を作った。今後動画の素材は見直しをして、必要であれば撮り直しなどして、地区紹介動画としての完成度を上げていきたいと考えている。</p> <p><b>【奈川獅子】</b>          奈川地区の伝統芸能である「奈川獅子」について、夏期休業中のロングフィールドワーク内で説明を受け、練習風景を見学させて頂き、9 月上旬に披露された本番の演舞も見させて頂いた。子どもの踊りと大人の踊りに分かれていて、いずれもとてと迫力のあるものであったが、踊り手に若い人が少なく、昔は踊っていなかった高校生や女子も今は踊っている、という状況である。また、舞には教科書のようなものではなく、口伝で受け継がれていることには驚かされた。今後えんがわプロジェクトとしては、これまで見学したりお話を聞いてきたので、次のステップとして、自分たちで実際に体験して、伝統芸能により深く触れる機会をつくったり、それを動画で撮って SNS で広めていく活動を考えている。</p> <p><b>【子供たち向けイベント「ながわ秋まつり」の企画・開催】</b></p>

	<p>昨年度参加したワークショップにて、休園中の保育園について、「せっかく綺麗な施設なのに使わないのはもったいない」という意見があった。奈川えんがわプロジェクトとしても、これまで何度か地区の子供たちと触れあう機会があり、子供たちと遊ぶのが好きなメンバーもいた。また、子供たちも人数が少ないので、何か遊ぼうとしても人数が足りず満足した遊びができないという声もあった。</p> <p>そこで、プロジェクトが主催して、使われていない保育園を会場として子供たち向けのイベント「ながわ秋まつり」を開催した。内容は段ボール迷路やクラフト作り、ボール遊びなど私たちが小学生くらいの時にやって嬉しかったことを子供たちにもさせてあげようと考え、計画した。段ボール迷路に使う段ボールを大量に集めるなど準備には苦勞し、また、保育園も休園中なので電気や水道が使えない状態となっているので市役所に協力を依頼し、発電機などを準備して頂いた。そして、当日は保護者も含めて 20 人程に企画を楽しんで頂いた。評判は上々で、終了後に保護者からまたやってほしい、との声や自分たちも協力してまた何かイベントを開きたいとの声を頂き、大きなやりがいを感じた。これ以降、保育園は地区の方が開くイベントや下述するぐるぐるカフェの会場としても利用されるようになり、保育園を使うきっかけ作りをすることができた。地区内の子ども的人数を考えるとまだ保育園を再開できる状況ではないが、施設の利用法として将来につなぐことができた。来年度もまた何かイベントを開こうと考えている次第である。</p> <p><b>【studioL 主催のぐるぐるカフェへの参加】</b></p> <p>まちづくりを専門に扱う民間の会社、studioL が主催して、奈川の将来について考えるイベント「ぐるぐるカフェ」に 2 回参加させて頂いた。子育てに関すること、移住促進に関することなどいくつかのテーマに分かれてグループワークをした。はじめに奈川の現状から、今困っていること、今後必要なことについての意見を地元の方が中心に出して、そこから今後できることを私たち大学生も一緒になって考えた。例えば、移住促進の面では地区内の空き家を活用して、農業体験なども盛り込んだ 1 週間以内の短期間の移住体験プログラムを作り、それをまず大学生が体験し、レビューをつくるというアイデアがあった。このように、地区の人が求めているものと、私たち大学生など若い世代ができることを合わせて考えることで地区の将来につながるきっかけ作りができるのではないかと切に感じる出来事となった。今後、さらにアイデアを深く詰めて実行に移していく予定である。</p> <p><b>【保平かぶの種干しと収穫、漬物体験】</b></p> <p>昨年に引き続き、信州の伝統野菜に認定されている保平かぶについて、種干しと収穫を体験させて頂いた。また、保平かぶの甘酢漬けを販売する会社に職業体験という形で収穫した大量の保平かぶを機械を使って洗う作業のお手伝いをした。これらにより、畑での農作業に加えて、漬物として出荷されるまでに行われる工程の大部分を聞いたり体験することで習得できたと考える。収穫後は昨年同様かぶを一部分けて頂き、メンバーで持ち帰って、甘酢漬けにした。活動にあたってお世話になっている市役所の各課に配ったり、自分たちで食べたりした。</p>
活動の成果と今後の課題	<p>地域の方や市役所のサポートもあり、今年で活動は 2 年目に突入した。昨年は大雨や新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、思うように活動できない時期も多かったが、今年度は感染に十分気をつけながら、地域の方とより深く関われる活動をすることができた。</p> <p>昨年度は奈川地区に関わる初年度ということもあり、まず、「奈川を知る」ことをテーマとして、伝統野菜の保平かぶや奈川地区の特徴である雄大な自然に触れること、ワークショップに参加して地域の方々と話ししながら奈川の現状を知ることをメインの活動内容としていた。そして、ある程度地区のことが分かってきた 2 年目の今年度は「奈川の今をより楽しく」をテーマに活動した。特に 10 月に地域の子供たちを対象にして開催したイベントは地域の方々の思い・現状から私たち大学生ができることを考えて行ったものであり、最大の成果だと考えている。実際開催後には保護者などから満足の声を頂き、大きなやりがいを感じた。また、住民参加型のイベントで将来の奈川地区について考える機会もあるなど、奈川地区のためになるような活動ができた 1 年だったと考える。</p>

今後は本年度同様、地域の方に地区の魅力を再認識してもらう意味も込め、えんがわプロジェクト主催あるいは地域の方と共催のイベントを開催したり、えんがわプロジェクトのメンバーが伝統芸能など地区内の魅力となるものを体験し、それを大学生が得意とする SNS を用いて地域の魅力を外に発信するなど、「学生だからできること」に注目して活動していきたい。引き続き、地域の方々や市役所などとコミュニケーションを密に取りながら、一緒になって活動したいと考えている。

#### 【活動の様子】



※記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

※活動内容が分かる資料や写真等があれば、添付してください。添付書類を含む活動報告書一式は、A4判4枚以内にまとめてください。活動内容だけでなく、活動団体のPRを行うことができる動画を添付することも可能です。

※提出された活動報告書一式は、各関係機関等に公表するとともに、高等教育コンソーシアム信州のHPへの掲載を予定しています。他人が写った写真等を許可なく使用しないなど、著作権や肖像権に配慮してください。